

# 全国高等学校インテリア科教育研究会

## 令和4年度 第1回協議会

令和4年 5月20日(金)

14:00~17:00

千葉県立市川工業高等学校 図書室

<日 程>

午後2時00分~午後5時00分 第1回協議会

第1回協議会 次 第

- 1 開会のことば
- 2 議 事
  - 1 令和3年度 事業報告
  - 2 令和3年度 決算報告
  - 3 令和4年度 事業計画(案)
  - 4 令和4年度 予算(案)
  - 5 役員改選
  - 6 輪番票について
  - 7 60周年記念大会について
  - 8 脱退校について
  - 9 その他
- 3 閉会のことば

参加者

会長 副会長 理事長 副理事長 会計 理事  
ものコン担当 HP担当 教科目研究会担当

## 1 令和3年度 事業報告

### (1) 協議会

- 第1回協議会 令和3年 場所：大阪市立工芸高校 (中止)  
第2回協議会 令和3年 場所：大阪市立工芸高校 (中止)  
第3回協議会 令和4年 3月23日(水) 場所：大阪市立工芸高校

### (2) 第52回全国高等学校インテリア科教育研究大会

(新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止)

期 日：令和3年8月4日(水)～6日(金)

会 場：熊本県熊本市 水前寺共済会館

当番校：熊本県立八代工業高等学校 インテリア科 担当 一ノ口 武俊

### (3) 委員会・担当

①第15回高校生ものデザインコンテスト (都立工芸：竹野)

主 催：全国高等学校インテリア科教育研究会

後 援：社団法人 全国工業高等学校長協会

協 賛：拓殖大学・千葉工業大学・日本工業大学・青山製図専門学校

専門学校ICSカレッジオブアーツ・専門学校山脇美術専門学校

TTC株式会社タケダ事業本部・JAFICA 日本フーランスインテリアコーディネーター協会

参加資格：全国高等学校インテリア科教育研究会加盟校の生徒

課 題：クラフト部門 テーマ：自由

インテリアデザイン部門 テーマ：高校生の住まいを考える

表 彰：最優秀賞、優秀賞、優良賞、奨励賞

担 当 校：東京都立工芸高等学校

エントリー：7月9日必着 作品送付7月26日～30日必着

応募数：クラフト部門 60点・インテリアデザイン部門 206点

合計266点(昨年286点)

②ホームページについて

「第15回高校生ものデザインコンテスト」の募集要項等をホームページに掲載。

### (4) 優良生徒表彰

令和3年度加盟校関係学科卒業見込み生徒。全定各1名。23校25名を表彰

### (5) 賛助会員および個人会員の募集

入会なし

### (6) 会員の表彰および顧問の推薦

なし

### (7) 関係団体の催し

令和3年度 住まいのインテリアコーディネーションコンテスト 高校生部門

主 催：公益社団法人インテリア産業協会

後 援：経済産業省

課 題：「新しい生活様式のリビング空間」

規定された空間をもとに「新しい生活様式のリビング空間」を提案する。

表 彰：インテリア産業協会会長賞(1点)高校生部門賞(1点)優秀賞(2点)奨励賞(6点)

応募期間：令和3年7月5日(月)～7月26日(月)

審査結果：9月下旬

### (8) その他

## 2 令和3年度 決算報告

### (1) 一般会計

#### ①収入の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	3年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	756,319	756,319	0	
2 学校会費	230,000	230,000	0	10,000円×23校
3 個人会費	2,000	2,000	0	2,000円×1名
4 賛助会費	230,000	230,000	0	10,000円×23口(20社) (有)秋山木工3口 (公社)インテリア産業協会2口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	6	13	7	利子
合 計	1,298,325	1,298,332	7	

#### ②支出の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	3年度決算	比較増減	摘 要
1 事務費	35,000	1,780	-33,220	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	11,320	-8,680	切手
3 会議費	3,000	1,227	-1,773	湯茶等
4 渉外費	30,000	15,220	-14,780	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	750,000	240,804	-509,196	
① 教育研究大会費	100,000	0	-100,000	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	450,000	69,980	-380,020	役員交通費
③ ホームページ運営費	10,000	1,848	-8,152	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	26,404	-3,596	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	142,572	-17,428	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	0	0	0	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	460,325	0	-460,325	
合 計	1,298,325	270,351	-1,027,974	

1,298,332(収入総額) - 270,351(支出総額) = 1,027,981(差引残高)  
 差引残高1,027,981円は令和4年度に繰り越します。

(2) 特別会計

①収入の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	3年度決算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,282,764	1,282,764	0	
2 記念事業等積立金			0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	12	13	1	利子
合 計	1,282,776	1,282,777	1	

②支出の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	3年度決算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,100,000	0	-1,100,000	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	100,000	0	-100,000	
3 予備費	82,776	0	-82,776	
合 計	1,282,776	0	-1,282,776	

1,282,777円(収入総額) - 0円(支出総額) = 1,282,777円(差引残高)  
差引残高1,282,777円は、令和4年度に繰り越します。

### 3 令和4年度 事業計画（案）

#### (1) 協議会

第1回協議会 令和4年 5月20日（金）場所：千葉県立市川工業高等学校

第2回協議会 令和5年 2月、3月頃 場所：千葉県立市川工業高等学校（予定）

#### (2) 第53回全国高等学校インテリア科教育研究大会（別紙参照）

期 日： 令和4年7月29日（金）13：30～

形 態：オンライン

当番校：熊本県立八代工業高等学校 インテリア科 担当 一ノ口 武俊

内 容：開会行事・講話・総会・講演・研究発表・閉会行事

#### (3) 第16回高校生ものデザインコンテスト

エントリー：令和4年7月15日（金）必着

募集期間：令和4年7月25日（月）～29日（金）必着

\*募集要項はHPに掲載済み

JAPANTEXでの展示は検討

#### (4) 優良生徒表彰

例年通り行う。

#### (5) 賛助会員および個人会員の募集

継続して行う。

#### (6) 会員の表彰および顧問の推薦

継続して行う。

#### (7) 関係団体の催し

①令和4年度 住まいのインテリアコーディネートコンテスト 高校生部門

主催：公益社団法人 インテリア産業協会 テーマ「わくわくするようなりビング空間」

\*詳細はHPにて掲載中

#### (8) その他

#### 4 令和4年度 予算(案)

##### (1) 一般会計

##### ①収入の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	4年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	756,319	1,027,981	271,662	
2 学校会費	230,000	220,000	-10,000	10,000円×22校
3 個人会費	2,000	2,000	0	2,000円×1名
4 賛助会費	230,000	230,000	0	10,000円×23口
5 事業費	30,000	30,000	0	生徒参加型競技会(ものデザイン協賛金) (財)建築技術教育普及センター
6 補助金	50,000	50,000	0	全工協より
7 雑収入	6	8	2	利子
合 計	1,298,325	1,559,989	261,664	

##### ②支出の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	4年度予算	比較増減	摘 要
1 事務費	35,000	35,000	0	備品、消耗品等
2 通信費	20,000	20,000	0	切手
3 会議費	3,000	3,000	0	湯茶等
4 渉外費	30,000	30,000	0	JAFICA年会費、交通費等
5 事業費	750,000	750,000	0	
① 教育研究大会費	100,000	100,000	0	教育研究大会費助成
② 研究協議会費	450,000	450,000	0	役員交通費
③ ホームページ運営費	10,000	10,000	0	HP運営経費
④ 優良生徒表彰	30,000	30,000	0	賞状、ホルダー、送料
⑤ 生徒参加型競技会	160,000	160,000	0	ものデザインコンテスト助成
⑥ 地区教研費	0	0	0	地区教研費助成
⑦ 教育課程研究費			0	
⑧ 記念誌編集費			0	
6 予備費	460,325	721,989	261,664	
合 計	1,298,325	1,559,989	261,664	

(2) 特別会計

①収入の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	4年度予算	比較増減	摘 要
1 繰越金	1,282,764	1,282,777	13	
2 記念事業等積立金			0	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	12	12	0	利子
合 計	1,282,776	1,282,789	13	

②支出の部

(単位:円)

項 目	3年度予算	4年度予算	比較増減	摘 要
1 記念事業等積立金	1,100,000	1,100,000	0	次期記念事業等積立
2 教育研究会大会助成	100,000	100,000	0	
3 予備費	82,776	82,789	13	
合 計	1,282,776	1,282,789	13	

## 5 役員改選

役 職	令 和 3 年 度		役 職	令 和 4 年 度	
	氏 名	学 校 名		氏 名	学 校 名
会 長	橋本 嘉平	大阪市立工芸高等学校	会 長	稲葉 保	千葉県立市川工業高等学校
副 会 長	村木 祐二	熊本県立八代工業高等学校	副 会 長	村木 祐二	熊本県立八代工業高等学校
理 事 長	内田 泉	大阪市立工芸高等学校	理 事 長	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校
副理事長	一ノ口 武俊	熊本県立八代工業高等学校	副理事長	一ノ口 武俊	熊本県立八代工業高等学校
理 事	中山 啓介	三重県立伊賀白鳳高等学校	理 事	斎藤 俊博	東京都立工芸高等学校
	西村 直樹	宮崎県立都城工業高等学校		内田 泉	大阪府立工芸高等学校
	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校		今福 清秀	鹿児島県立隼人工業高等学校
会 計	内田 泉	大阪市立工芸高等学校	会 計	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校
監 事	佐伯 高基	富山県立高岡工芸高等学校	監 事	池田 征史	名古屋市立工芸高等学校
	山本 昌宏	熊本県立熊本工業高等学校		尾家 信也	大分県立鶴崎工業高等学校
委 員 会	*平成26年度から凍結			*平成26年度から凍結	
HP担当	西井 梨紗	大阪市立工芸高等学校	HP担当	伊藤 智大	千葉県立市川工業高等学校
ものコン担当	竹野 秀治	東京都立工芸高等学校	ものコン担当	竹野 秀治	東京都立工芸高等学校
教科目研担当		令和3年度はなし			令和4年度はなし

\*「HP」とは、ホームページのこと。「ものコン」とは、高校生ものデザインコンテストのこと。

\*「教科目研」とは、教科目研究会のことで、大会の開催されない年度に行われる。(隔年開催)

## 5 その他

### (1) 顧問の選任について

※本人の承諾を確認した方のみを次年度以降の顧問とする。

- ・理事会の推薦により顧問を置くことができる。(会則第9条)
- ・理事会において推薦し、総会の承認を得る。(運営内規第4-3)

○全イ研ホームページを更新しています。ご覧ください。

○賛助会員・個人会員を募集しています。地元の企業様等をご紹介ください。

全イ研ホームページ <http://www.zeniken.info/>

事務局メール(担当：伊藤) [t.itu159@chiba-c.ed.jp](mailto:t.itu159@chiba-c.ed.jp)

全イ研に関しまして、ご相談、不明点等ございましたら気兼ねなくご連絡ください。

6 輪番表について

輪番表

令和4年5月17日

	平成	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
	新元号									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
	西暦	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
	周期	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
1	水沢工業					○	○									◇	○	○							○	○
2	秋田美大附		◇					○	○									◇	○	○			★			
3	宮城県工	△	△		◇					○	○				★					◇	○	○				★
4	市川工業	◎	◎	◎	◎	★	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
5	都立工芸	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
6	木曾青峰	○	○					△	△		◇	★							★		○					◇
7	高岡工芸			○	○					△	△		◇	◇												
8	名古屋工芸			★				○	○					△	△	◇		○	◎	◎	◎	◎	○	○		
9	高山工業		◇							○	○				△	△	◇				★				○	○
10	伊賀白鳳			◇		○		★			○	○				★	△	△	◇							
11	大阪工芸				★	◇		○	◎	◎	◎	◎	○	○					△	△	◇					
12	高松工芸			△	△						◇				○	○			★		△	△	◇			
13	博多工業	○	○	○	○	△	△			○	★		◇	◇				○	○					△	△	◇
14	長崎工業	○	○					△	△							◇				○	○					△
15	熊本工業		★	○	○					△	△							◇				○	○			
16	八代工業					○	○				○		★	★						◇				○	○	
17	鶴崎工業							○	○					△	△			★				◇				○
18	宮崎工業				○		★			○	○				△	△								◇		
19	都城工業		◇									○	○					△	△			★				◇
20	隼人工業			◇										○	○					△	△					
21	川内商工						◇								○	○						△	△		★	
22	鹿児島工								◇									○	○					△	△	
23	浦添工業										◇									○	○					△

◎ は事務局      ★ は研究会(総会)      ○は理事      △は監事      ◇は研究発表  
 ◎◎◎◎ は会長・理事長      ★ は副会長・副理事長      ◻はものコン担当      ★は教科目研究会担当

※加盟校の増減、各校の事情等により支障が出た場合は、その都度理事会で協議する。  
 ※上記の理由で今後輪番表が変更されることもあるため、最新の輪番表により運用する。

- 覚え書き
- ・研究会と教科目研究会は隔年で開催する
  - ・研究会と教科目研究会、理事・監事・研究発表は加盟校で輪番で担当する
  - ・閉校・閉科による退会で開催に支障が出る場合は基本的に前倒しとし、入会の場合も含めてその都度理事会で協議する
  - ・事務局は理事会等の交通の利便性を考えて当面のあいだは市川工業・都立工芸 名古屋市立工芸・大阪市立工芸で交代で担当する
  - ・ものデザインコンテストは後援団体の交通の利便性を考えて当面の間は市川工業と都立工芸で担当する

- ・近年研究会・教科目研究会にあたる学校の脱退が増加傾向。
- ・大会の内容を精査してはかがか
- ・例

- コロナウイルスの状況もあるので、オンラインによる開催も状況によって検討
- 研究発表は学校紹介という形で発表するのはいかがか（全国の学校の取組みを知る）
- 宿泊施設の斡旋についても基本各個人が行うこととする。

○研究大会（総会）

1日目午後～（学校紹介、施設見学、総会、ものコン表彰、研究発表（学校紹介）、公演（可能であれば））

2日目午前～（2日目に関しては希望制にて企業研修等）

開催場所等は基本は当該校を基本として実施。

○教科目研究会

1日目午後～（工場・企業研修、学校紹介・施設見学・意見交換会）

2日目午前～（2日目は希望制にて工場・企業研修等）

開催場所等は基本は当該校を基本として実施。

7 60周年記念大会について

（令和6年に該当。首都圏大会（市川工業・都立）にしてはいかがか）

8 脱退校について

令和4年4月 富山県立高岡工芸高等学校

加盟校は22校

9 その他